

I 港区立赤坂子ども中高生プラザ概要

1. 基本理念及び運営方針

(1) 基本理念

赤坂子ども中高生プラザ（以下、「プラザ」という。）は、児童を権利行使の主体として捉え、港区立子ども中高生プラザ条例（以下、「条例」という。）に基づき、下記の基本理念を掲げ、子どもの権利を擁護し、健やかな成長を願って事業の運営を行ってきました。

- ① のびのび楽しく過ごす心を持ち、ありのままの自分に力があることを自覚し、自主的に活動を進められるように支援します。
- ② じっくりと考える力が育つように働きかけ、仲間とともに協力し、自治を作っていく力を育てます。
- ③ 一人ひとりの違いを認め合いながら、人間として温かな心を育むよう支援します。
- ④ 生き生きと健康な身体を作ることを働きかけ、児童の体力増進のための活動を進めます。
- ⑤ 中高生が心地よく過ごせる居場所となるよう環境を整え、支援するとともに、自主的に文化、芸術、スポーツ活動の向上を図れるよう、活動を進めます。
- ⑥ 地域の乳幼児や小学生と子育て中の保護者が、主体的に、生き生きと安心して過ごせる場を作ります。
- ⑦ 学童クラブの子どもたちが生活の場として安心して過ごし、個々の力を伸ばせるよう働きかけます。
- ⑧ 地域との連携を深め、協力、交流を行うための組織を作り、活動を進めていきます。
- ⑨ 児童に関わる情報収集に努め、発信、提供の場になれるようにします。

(2) 全体の運営方針

- ① 来館者一人ひとりのベスト・インタレスト（最善の利益）を出発点とした運営を行います。
- ② 地域をステージとした多様な活動に参加できるよう、拠点施設としての運営を行います。
- ③ 児童が友情を育み、仲間と集える「居場所」を共に作っていく運営を行います。
- ④ 障害のあるなしに関わらず、だれもが自分らしい選択で活動できるノーマライゼーションの考えに基づく運営を行います。
- ⑤ すべての児童・保護者等が性別にとらわれず、自分らしく豊かに生きることのできるよう男女平等参画の視点から運営を行います。^新
- ⑥ 子育て中の家庭を支援し、親も成長できるよう、共生の視点から運営を行います。
- ⑦ 高齢者施設との交流を深め、世代間交流を促進する運営を行います。
- ⑧ ボランティアの育成に努め、社会参加への機会となる運営を行います。
- ⑨ 利用者の個人情報保護の適正化に取り組むとともに、職員の倫理綱領に基づく行動規範を遵守し、サービスの質の充実を図ります。
- ⑩ 地域に信頼され、親しまれる施設、より一層賑わいのある施設を目指します。
- ⑪ 令和2年度は、小学生世代を重点対象とし、小学生が安全で安心して過ごせる居場所を提供するとともに、当館が提供する多様な企画・事業への参加や学童クラブの諸活動を通じて、自主性や社会性・協調性等を育み、生きる力と知恵が身につくよう支援することを目指して活動を企画・運営を目指しました。

※ しかしながら、新型コロナウイルス感染症（以下、「新型コロナ」という。）拡大の影響により、4月から6月までの3か月間、プラザの一般利用を中止（事実上の休館）したこと等から利用者が減少し、また7月からの再開以降も感染防止対策の徹底が求められる状況下では企画・事業を中止したり、利用を制限せざるを得なかったことから、目指す活動が、以下に記載のように、計画どおりには行えませんでした。

(3) 具体的な方針

条例に基づき、児童が心身ともに健やかに成長し、豊かな情操を育むようにするため、大型児童センターとしての役割を果たしつつ、「地域とともに育つ」という視点から、開かれた施設づくりを進めます。

この観点により、乳幼児から18歳未満の児童の心のよりどころとなり、かつ“居場所”として、児童の体力増進、文化・芸術活動の拠点になるよう、企画運営を行いました。

① 地域とともに育ち、信頼される施設を目指し、開かれた施設づくりを推進します。

- ・ 児童が安全に、安心して過ごせる施設運営を行います。
- ・ 児童の遊びや体力増進、文化・芸術の拠点となるような企画と運営を目指します。
- ・ 児童を優先しつつ、地域のニーズに柔軟に応えられるよう、開かれた施設運営を行います。
- ・ 児童に関する関係機関、とりわけ近隣の機関等と連携し、有機的なネットワークを構築します。
- ・ 学童クラブにおいては、児童の健全育成に十分配慮し、更に充実した運営を目指します。
- ・ 港区の「子どもの未来応援施策」実現に向け、中高生の居場所機能を充実させるよう取り組みます。

② いろいろなニーズを持った児童が参加しやすいように、常に利用者の状況を把握し、自主的な活動を支援し、ともに行動しながら、交流する喜びや満足を感じられるような活動内容を提供します。

- ・ 職員の専門性を高め、質の高いサービスを提供します。
- ・ 中高生に対しては、地域等の協力も得ながら、本物の文化、芸術、スポーツなどの素晴らしさを伝えられるような活動を展開していきます。
- ・ 児童が自主的に参加できる場所として、児童の欲求を敏感に捉えながら、自主的な活動を進められるよう、配慮をしていきます。
- ・ 障害児の夏季休業日等の受け入れに、適切に対応し支援します。

③ 高齢者施設との交流を大切にします。

- ・ 併設の高齢者施設を利用される方々と、日常的に自然な交流ができるよう工夫し、世代間交流ができるような活動を企画します。
- ・ 高齢者施設との交流については、ボランティアや見学も行うとともに、併設の高齢者施設と連携し、児童がより高齢者福祉に興味、関心を持つことができるような機会を設けます。

④ 令和2年度は、小学生世代を対象に、安全安心な居場所の提供と自主性や社会性・協調性等の育成を念頭に置いた活動の実現・強化を重点目標として掲げ、支援しました。

⑤ 令和2年度から、新たに赤坂子ども中高生プラザ「青山館」の運営も行うこととなったことを踏まえ、赤坂子ども中高生プラザと青山館との連携を密にして、児童・保護者が両館の施設、事業で交流を深めるとともに、職員についても日常的に企画行事や運営面で協力し合い、相乗効果が得られるような運営を目指し、運営しました。

※しかしながら、新型コロナ拡大の影響により、交流事業については、三密（密閉・密集・密接）回避のため、利用者同士が密閉空間や密に接する恐れがある、バスや電車を利用する外出行事、球技等の交流企画・事業を、中止・縮小せざるを得ませんでした。

2. 利用日時

(1) 赤坂子ども中高生プラザ

条例等に基づき、次のとおり行いました。

【開館時間】

午前9時30分から午後8時

(小学生の利用は、ひとりで帰れる時間を考慮し、「午後6時まで」を推奨)

※障害児夏季休業日等支援事業による受入れ拡大 午前8時30分から
【開館曜日】

月曜日から日曜日

(ただし、国民の祝日に関する法律に定める休日、年末年始の12月29日から31日及び1月2・3日は休館)

年末施設開放12月29、30日午前9時30分から午後8時

※ なお、令和2年3月2日以降6月末日までの間は、新型コロナ拡大の影響により、港区の方針にしたがって児童館部分の一般利用を中止しました。また、プラザの利用を再開した7月以降も、新型コロナ感染防止の観点から定員制・予約申込制等種々の制約を設けるとともに、各室の利用可能時間は、合間に利用を一時停止し、接触感染防止のための「消毒タイム」を挟んで設定するなど、通常とは異なる運用を行いました。

(2) 学童クラブ

港区学童クラブ運営要綱に基づき、利用日及び時間について、次のとおり行いました。

① 月曜日から金曜日 下校時から午後7時 土曜日 午前8時から午後5時

② 学校休業期間中 午前8時から午後7時(但し、土曜日は午後5時、日曜日は休室)

※ なお、新型コロナ拡大の影響により区立・都立学校等が臨時休業することとなったことに伴い、例年とは異なり、プラザの一般利用中止期間中は利用を学童クラブ入会児童のみに限定し、三期休業日の平日と同様に早朝から学童の利用を受け入れました。

ただ、学童クラブに関しては、「緊急事態宣言」(第一次:4月7日以降5月25日まで)下で、区の方針にしたがい、在宅ワーク等を行っているご家庭に対し、学童クラブの「強い利用自粛要請」を行いました。そのため、利用児童は、登録数の約6分の1程度(4月平均:29名、5月:13名)にまで減少しました。

3. 運営管理

(1) 組織体制

連携

赤坂子ども中高生プラザ 青山館

(2) 職員体制

区分	館長	事務員	児童指導員			その他	合計	
			プラザ	学童クラブ	子育て広場			
正規・常勤	1(1)		7(8)	5(4)	2(2)		15(15)	
非正規		常勤	0(1)	2(1)	0(1)	1(0)	0(1)	3(4)
		非常勤	3(0)	1(3)	3(1)	1(2)		8(6)
計	1(1)	3(1)	10(12)	8(6)	4(4)	0(1)	26(25)	

(注) 令和3年3月31日現在。()内の数値は、指定管理提案時の配置計画数。

Ⅱ 赤坂子ども中高生プラザ運営事業

1 令和2年度 運営方針・指導の重点（学童クラブ共通）

以下の運営方針・指導の重点に基づき、事業を実施・運営しました。

（1）年度運営方針

令和2年度は、「小学生世代」を重点対象としつつ、「中高生居場所づくり」も念頭において、多様な活動の実現・充実、環境づくり、仕組みづくりに重点をおいた運営を行いました。

（2）指導の重点

- ① 児童から、赤坂子ども中高生プラザに「また遊びに来たい！」と思われるよう、職員との関係づくり、企画運営を行います。
- ② 赤坂子ども中高生プラザが、赤坂地区の拠点として、「なんで～もに來れば、安して過ごすことができる、心のホッとステーション」となるよう指導・支援をしていきます。
- ③ 館での「挨拶」や「受け答え」がきちんとできるようにすることを目標として掲げ、指導・支援をしてきました。

（3）主な取組

月	企画名	内容	ねらい
4月	新入生対象 館内スタンプラリー	児童が来館した日に、館内出勤職員に名前を尋ねた後、自己紹介をするなどの交流をした後、カードにスタンプがもらえる。スタンプ総数に応じて、入学祝景品がもらえる。	・赤坂子ども中高生プラザを知ってもらう ・職員の顔と名前を覚えてもらう。 新型コロナ対応として、7月～12月の間で実施。
7・8月 夏休み 期間中	夏休み スタンプラリー	児童が来館した日に、フロントにてカードにスタンプを押し、9月の結果発表会において、スタンプ総数に応じて、表彰する。	・赤坂子ども中高生プラザを頻繁に利用してもらう。 新型コロナ対応として、上記「館内スタンプラリー」と兼ねて7月～12月の間で実施。
年2回	小学生なんで～も 委員会	館内のルールや企画などを発案し、実現できるよう小学生同士で話し合う。	・赤坂子ども中高生プラザの運営に児童自身が参画し、自分たちの「なんで～も」と感じてもらえる場とする。 ※10月、1月に実施
通年	各部屋 リクエスト企画	職員側から提供する企画ばかりでなく、「小学生なんで～も委員会」等を通じて得られた、児童からのリクエストに応える企画を実施する。 【実施例】 ・紙粘土で「起き上がりこぼし」1月 ・アルミ玉づくり：3月 ・メダルづくり、テニス大会：3月	・児童の要望を実現させる企画を実施し、赤坂子ども中高生プラザが、児童にとって「居場所」と感じてもらえるようにする。

(4) 小学生対象企画の新設・充実

比較的大型の企画である「e(n)ースポーツ大会(青山館との共同開催)」、「謎解き」と「(アリーナからの)脱出」を組み合わせた「リアル脱出ゲーム」大会を、小学生世代中心の「思い出に残るようなイベント」として実施しました。なお、小学生「館内お泊り会」等は、新型コロナの影響を考慮し、実施を見合わせました。

(5) 主な新規事業等

新型コロナの影響により、利用方法等に様々な制約を設けたことから、感染防止が図られる範囲で、代替措置等として、次のような行事を新たに行いました。

- ① 「ムジカ・ディ・バンビーノ(合唱クラブ)」に代えて、11月以降、連続企画として「アニマート(器楽演奏)」を実施しました。(延べ15回、129人参加)
- ② これまで、新1年生を迎える4月にのみ実施していたメディアルーム及びクラフトルームでの「じっくり週間」を、10月以降、毎月実施しました。(メディア:延べ115人)、(クラフト:延べ237人)
- ③ 日本の伝統文化に親しむ行事(子ども歌舞伎と日本舞踊)に、1回、15人参加。

(6) 総括

新型コロナの影響を考慮し、実施時期を変更したり、クッキングや「集団で行うスポーツ・ゲーム」など、中止した企画、行事が多くありました。(詳細は、後に記載)

2 児童館事業

(1) 小学生対象の事業

定期活動

【メディアルーム】

実施回数	活動	内容	参加人数
通年	ローマ字検定	ローマ字入力を習得し、検定を受ける	約68人
72回	月間企画	制作活動、絵画コンテスト 季節に関する活動	約380人

【クラフトルーム】

実施回数	活動	内容	参加人数
10回	期間工作	おすすめの工作を月に1~2回、作り方の掲示や材料を用意し、提供	約300人

【アリーナ】

実施回数	活動	内容	参加人数
20回	月間企画	集団遊び、スポーツ企画(アリーナに集合、パドミントン大会等) リクエスト企画(気配斬り) 表現活動(一輪車)	284人

特別活動

【メディアルーム】

実施回数	活動	内容	参加人数
通年（1回）	ローマ字検定王	PCでのローマ字入力を楽しく習得し、競う	4人
年3回	リクエストシアター (アリーナシアターも含む)	子どもからのリクエストをもとに、映画を大画面で上映する	39人
【中止】	講師企画	講師による企画（インターネット講習会等）	新型コロナ拡大防止のため、中止
1回	月間企画	小学生なんで～も委員会発案による企画（プラ板）	4人
6回	e(n)-スポーツ大会	メディアルームの大画面テレビを使用し、ゲーム大会を行いながら交流を深める	50人

- ※ **新規企画**：8月：レターセットづくり（2回、8人）
 9月：ブックカバーづくり（2回、8人）
 10月：トリックアート（2回、8人）、なんで～も写真館：（1回、60人）
 11月：ステッカーづくり（1回、4人）

【クラフトルーム】

実施回数	活動	内容	参加人数
14回	月間企画	テーマ・材料を決めての工作 リクエスト企画（ビーズ・小物作り等）	141人
5回	陶芸教室	講師による陶芸活動	48人
3回	高学年企画	高学年向けの材料、道具を使ったアクセサリー作り、工作等	16人
6回	PlaZania お店屋さん商品作り	PlaZania に向けてお店屋さんの商品作り	51人
【中止】	おやつ研Q会	高学年を対象に、お菓子やアイスなどの違いについて考えながらおやつを食べる。	新型コロナ拡大防止のため、中止

- ※ **新規企画**：7月：洗濯ばさみ鉄砲（1回、12人）
 8月：ライダーづくり（2回、20人）、絵画コンテスト（1回、13人）
 9月：ペットボトルキャップマグネット（2回、24人）、新聞紙ブローチづくり（1回、6人）モザイクアート（3回、23人）
 10月：グリッターデコ（2回、10人）、11月：空気砲づくり（1回、10人）、サイクアート（3回、18人）
 12月：プロジェクション・クリスマスツリー（1回、11人）
 1月：起き上がりこぼし（1回、13人）ペットボトルプレスレット：（1回、12人）、
 2月：スーパーボールづくり（1回、13人）、ハンドタオルでつくるくまちゃん：（1回、13人）
 3月：メダルづくり（1回、13人）、アルミ玉づくり（1回、13人）、ミサンガづくり（1回、8人）

【スタジオI】

実施回数	活動	内容	参加人数
年1回	伝統文化	講師を招いて伝統文化の体験（※） （子ども歌舞伎と日本舞踊（再掲））	15人
年2回	音楽活動	職員による小学生の音楽活動（ハンドベルなど） や指導、館内発表会への出演	129人
年1回	※ ことさん	講師による箏・三味線の体験指導、館内発表会 への出演（延べ5回実施）	80人

※「歴史・文化にふれる活動」の一環

【アリーナ】

実施回数	活動	内容	参加人数
【中止】	ドッジボール	港区児童館ドッジボール選手権大会に向け 低学年、高学年のチームを作り、大会に向け練習 を行う。	新型コロナ感染拡大 防止のため開催中止
年2回	アリーナシアター	子どものリクエストにより、アリーナで、映画 等を上映	27人
年1回	専門講師による 講座企画	講師を招いて、専門的なスポーツ教室を行う。 （フットサル体験）	6人

※ **新規企画**：8月：的あて（2回、19人）、
9月：ストラックアウトタイム：（2回、20人）
10月：フリースロー（2回、20人）、
11月：バドミントン大会：（1回、13人）、
12月：気配斬り（1回、7人）、ツイスターゲーム（1回、12人）、
・楽器に触れてみよう：1月：（1回、11人）、2月（2回、10人）、3月（2回、17人）
3月：テニス大会：（1回、7人）、野球大会：（1回、11人）、じゃんけんタッチ：
（1回、18人）

【ラウンジ】

※ **新規企画**：2月：ビリヤードミニ大会：（1回、4人）、ラウンジクイズ：12、1月（各月1回、
16人）

【その他】

- ・新入生対象館内スタンプラリー開催、参加者32名
- ・赤坂・青山共育フェスタに「ムジカ ディ バンビーノ」「DANCE クラブ」参加予定
だったが、新型コロナ感染拡大防止のため共育フェスタ自体が中止となった。

（2）中高生対象の事業

定期活動

【なんで〜も委員会】

実施回数	活動	内容	参加人数
第3日曜日	委員会 （年間登録）	プラザ（館）の運営に関する話し合い、活動内 容の検討など	23人
通年	プロジェクト （企画チーム活動）	企画検討・実施準備、活動実施・片づけ	23人

【中高生居場所づくり事業】

実施回数	活動	内容	参加人数
通年	まなび舎 in なんでも	ラウンジ内に専用の勉強コーナーを設置し、自主学習の場の確保及び中高生の交流の場の確保	310人
【中止】 (第2・第4 火曜日)	NAN-CAFÉ (これに代えて 「ボドイチ」)	異学校、異学年の児童となんでもの職員やOB大学生などが、菓子類や飲料を食べながら語り合い交流する「しゃべり場」 ボードゲームを介して異学校、異学年の児童となんでも職員やOB大学生などと交流をするしゃべり場を開催。	新型コロナのため 開催中止。代わりに ボドイチを実施
【中止】 (第3火曜日)	NAN-COOK	異学校、異学年の児童となんでもの職員やOB大学生などが、軽食を調理し食しながら語り合い交流する「しゃべり場」	新型コロナのため 中止
月1回	NAN-SPO (11月以降実施)	異学校、異学年の児童となんでもの職員やOB大学生などとスポーツで交流する	32人
【中止】 (第4日曜日)	新TLP (ランチパーティー)	異学校、異学年の児童となんでもの職員やOB大学生などと、昼食の調理を共にし、食べながら、交流をする。 ゲームやダーツなどを通して異学年の児童となんでも職員やOB大学生などと交流をするゲーム王を代わりに実施。	新型コロナのため 開催中止。 代わりにゲーム王 決定戦を実施
第2・第4 火曜日	新ボドイチ	ラウンジにおいて、ボードゲームを通じて、異学校、異学年の児童となんでも職員やOB大学生などと交流をする。	39人
第1日曜日	新ダーツ王決定戦	ダーツを通して、異学年、異学校の生徒となんでもの職員やOB大学生と交流をする。	12月より実施 12人
月1～2回	新ゲーム王決定戦	ゲームを通して、異学年、異学校の生徒となんでもの職員やOB大学生と交流をする。	43人

※ 新規企画：10月；クイズ王：5人

3月：格付けチェック&ナーフ：12人

(注) 表中の「実施回数」欄の () 書きは、計画時の予定回数を示す。(以下、同じ。)

特別活動

【中高生居場所づくり事業】

実施回数	活動	内容	参加人数
【中止】 (年1回)	館内宿泊「まなび舎 in なんでも」	・長期休業期間中の宿泊を伴った自主学習支援企画 ・大学生ボランティア等による学習支援	コロナのため 開催中止
【中止】 (通年)	まなびちゃん	・大学生ボランティア等による学習、スポーツ交流、進路相談会	コロナのため 開催中止

【メディアルーム】

実施回数	活動	内容	参加人数
2回	月間企画	映画等の上映会、パソコンを使った製作活動 ※今年度はコロナのため実施中止。1月から再開	3

【クラフトルーム】

実施回数	活動	内容	参加人数
通年	月間企画	テーマ・材料を決めて行う工作など	24人

【スタジオⅠ】

実施回数	活動	内容	参加人数
【中止】 (年1回)	ダンスレッスン	講師によるダンス指導	コロナのため開催中止
月1回	新 プラカラ (プラザ・カラオケ)	カラオケを用いて歌うことを楽しみながら、異学年・異学校の中高生同士が親しく交流を深める。(日曜日に、学童ルームで開催)	1月より再開 7人

【スタジオⅡ】

実施回数	活動	内容	参加人数
通年 月1回	予約会議	スタジオ利用に関する次月の予約、連絡調整、バンド交流	35人
【中止】 (年2回)	バンド総会	バンド同士の交流、より良く利用するための会議	コロナのため開催中止
【中止】 (年2回)	バンドレッスン	講師による演奏指導	コロナのため開催中止

【アリーナ】

※ 新規企画：8月：バスケフリースロー大会（1回、4人）、9月：バドミントン：（1回、4人）
10月：卓球大会（1回、4人）

(3) 全年齢対象の事業

特別活動

【ラウンジ】

実施回数	活動	内容	参加人数
通年 月1回	おはなし宝石箱 新 ラウンジクイズ	歌、紙芝居、読み聞かせ等 ボードゲーム大会、クリスマス会、新年会等の季節のお楽しみ会。 (2月から「ラウンジクイズ」(再掲))	104人

【メディア】

実施回数	活動	内容	参加人数
13回	メディアシアター	映画等の上映会	約200人
通年	ペーパークラフト	パソコンを使った工作（季節に関連するもの、車や人形、バッグ、箱等）	約30人

【クラフトルーム】

実施回数	活動	内容	参加人数
5回	ワークショップ	テーマ・材料を決めての工作等	262人
【中止】	料理活動 クラ COOK	ランチ作り・おやつ作りなど ※乳幼児を除く。	新型コロナ拡大防止のため中止

【アリーナ】

実施回数	活動	内容	参加人数
19回	新 The 卓球 サークル	<ul style="list-style-type: none"> 小学生以上の児童から保護者まで参加できる卓球サークル。 異年齢交流や保護者同士の交流まで、幅広い年齢が参加し、楽しめる活動。 講師の指導やランキング戦も実施。 ※乳幼児を除く。(10月から再開)	128人
【中止】	新 ボルダリング タイム	<ul style="list-style-type: none"> 年齢で時間帯を分けて、ボルダリングを安全に楽しむ。 	新型コロナ感染拡大防止のため中止

※ 新規企画：2月：リアル脱出ゲーム(1回、102人) 3月：バスケット体験会(1回、8人)

3 子育て広場事業

(1)「乳幼児と保護者」対象の事業

定期活動

実施回数	活動	内容	対象	参加人数
32回	はいはい・ よちよち グループ	<ul style="list-style-type: none"> 手遊び、音楽遊び、工作、読み聞かせ、ふれあい遊び、運動遊び、食育など 	H31.4.2 生まれ以降の乳幼児・保護者	539人
24回	ねんね グループ	<ul style="list-style-type: none"> 1年を通して参加できる登録者には、出欠ファイルを配布。 		372人
29回	うさぎさん グループ	<ul style="list-style-type: none"> 手遊び、音楽遊び、工作、読み聞かせ、ふれあい遊び、運動遊び、食育など 1年を通して参加できる登録者には、出欠ファイルを配布。 	H30.4.2～ H31.4.1 生まれの乳幼児・保護者	242人
34回	こぐまさん グループ	<ul style="list-style-type: none"> 手遊び、音楽遊び、工作、読み聞かせ、ふれあい遊び、運動遊び、食育など 登録制で10名定員。 	H29.4.2～ H30.4.1 生まれの乳幼児・保護者	416人
25回	わいわい クラブ	アスレチック、リズム体操、かけっこ、集団遊び、ふれあい遊びなど	幼児(2歳～3歳程度)・保護者	463人
【中止】	FC NANDEMO	幼稚園児対象としたサッカーを中心とした運動遊び 新型コロナの流行を受け中止	幼稚園児・保護者	開催中止
12回	なんで～もであそぼ 1, 2, 3	楽器遊び、歌遊び、リトミックなど音楽を主体とした活動	乳幼児・保護者	201人

12回	アトリエ なんで〜も	幼稚園児対象で、講師を招いた 造形・絵画活動	幼稚園児・ 保護者	175人
8回	ファミリー タイム	季節にちなんだ料理活動等（保 育園児・幼稚園児も参加できる よう週末に行う） 新型コロナの流行を受け「プラ タイム」として開催。	乳幼児と その家族	118人
【中止】	たんぼぼ クラブ	・民生・児童委員による子育て 支援活動（手遊びタイム・ティ ータイムも行う） ・奇数月第4火曜日は、保健師、 栄養士による育児相談会も行う 新型コロナの流行を受け、民 生・児童委員協議会の意向によ り中止。	乳幼児・ 保護者	開催中止
2回	育児相談会	赤坂支所の保健師、栄養士による 育児相談会	乳幼児・ 保護者	22人
【中止】	お昼の体操	幼児向けのダンスを中心とした 活動 新型コロナの流行を受け中止	乳幼児・ 保護者	開催中止
8回	プラタイム ^新	電池を入れたプラレールタイム	乳幼児・ 保護者	118人
【中止】	流しラーメン	ふれあい広場で流しラーメン 新型コロナの流行を受け中止	乳幼児・ 保護者	開催中止
5回	各グループ活動内「水 遊び」・キラキラ ☆プール	「ふれあい広場」での水遊び	乳幼児・ 保護者	47人

特別活動

実施回数	活動	内容	対象	参加人数
【中止】	みなと保健所 との連携事業	歯科衛生士、環境衛生士の 講話等 新型コロナの流行を受け、 保健所の意向により中止	乳幼児・保護者	開催中止
1回	講師による企画	ベビーマッサージ	乳幼児・保護者	18人
3回	赤坂図書館との 連携事業	各グループ活動内にて 「おはなし会」	乳幼児・保護者	48人

※ 新規企画：10月：ハロウィンフォト（1回、8人）

(2) 保護者対象の事業

定期活動

実施回数	活動	内容	対象	参加人数
【中止】	な〜んでも 「お聞きします」	日本ガーディアン・エンジェルス から派遣されたボランティア相談	乳幼児の 保護者	開催中止

	(日本ガーディアン・エンジェルスとの連携事業)	員「スマイルさん」(心理士等)による相談活動 新型コロナの流行に伴い、連携主体の意向を受け中止		
【中止】	子育て支援 保護者対象企画	製作活動(カレンダー、移動ポケット、匂い袋、くるみボタン)、スポーツ、調理等、骨盤リセットヨガ、ヨガ、陶芸、ハンドベル 新型コロナの流行を受け中止	なんで~もを利用している乳幼児の保護者	開催中止
【中止】	キッズリサイクル	寄付を募り、リサイクル品を無料で提供 新型コロナの流行を受け中止 (三密回避、接触感染予防)	乳幼児の保護者	開催中止
【中止】	ハートでつなぐ リサイクル	寄付を募り、リサイクル品を無料で提供 新型コロナの流行を受け中止 (三密回避、接触感染予防)	なんで~もを利用している乳幼児の保護者	開催中止
【中止】	心すっきり ここスキ!!	職員による育児相談会 新型コロナの流行を受け中止	乳幼児の保護者	開催中止

特別活動

実施回数	活動	内容	対象	参加人数
年1回	子育て講話	講演会、グループ討論会 新型コロナの流行を受け今年度は中止	乳幼児の保護者	開催中止
【中止】 (年1回)	ノーバディーズ・パーフェクト・プログラム	子育て中の親のグループワーク (親支援プログラム) 新型コロナ感染拡大防止のため中止	乳幼児の保護者(母親)	開催中止
年1回	赤坂消防署との 連携事業	乳児の救命救急講習会	乳児の保護者	10人

(3) 父親対象事業・祖父母対象事業

特別活動

実施回数	活動	内容	対象	参加人数
2回	イクメン・イクジイ・イクババ 応援企画	陶芸教室	なんで~もを利用している乳幼児の父親・祖父母	26人
【中止】	プレママ・プレパパ 応援企画	マタニティ&保護者対象ヨガ 新型コロナ感染拡大防止のため中止	妊婦及びその夫	開催中止

(4) 乳児対象事業

定期活動

実施回数	活動	内容	対象	参加人数
1回	集まれ赤ちゃん！ 新乳児対象企画	ベビーマッサージ	乳児・保護者	18人

4 年間行事報告

(1) 事業計画に基づく行事

月	乳幼児	小学生	中高生	内容	参加人数
4		【中止】 ウェルカム・なんで～も		小・中・高の新一年生に対して、 祝福・歓迎する行事クラブ活動の紹介	新型コロナ拡大 防止のため中止
5	【中止】	こどもの日行事 わくわく☆ランド		子どもの成長と健康を願うための行事	新型コロナ拡大 防止のため中止
6	【中止】 スポ キッズ			乳幼児の年齢別グループ活動の交流行 事を行う	新型コロナ拡大 防止のため中止
		【中止】 高学年 キャンプ		自然環境の中で、宿泊を通じて、体験と 交流を深める行事	新型コロナ拡大 防止のため中止
		【中止】 親子交流行事		親子でバーベキューを楽しみ、保護者同 士の交流を図る行事	新型コロナ拡大 防止のため中止
7	【中止】	納涼祭（高齢者施設 と共催）		高齢者施設と共催し、地域の方々と 楽しむ夏祭	新型コロナ拡大 防止のため中止
8		【中止】 低学年 バスハイ ク		バスを使用して外出を楽しむ行事	新型コロナ拡大 防止のため中止
			【中止】 中高生 館内宿泊 よるで～も	館内での宿泊を通し、中高生の交流を深める 行事	新型コロナ拡大 防止のため中止
		【中止】	プラネタリウム	館内で移動式プラネタリウムを楽しむ 行事	新型コロナ拡大 防止のため中止
9		【中止】	赤坂秋祭り 2020	地域商店街行事において当館活動の 発表を行う（主催商店会の判断で中止）	新型コロナ拡大 防止のため中止
	【中止】 キッズシ アター			乳幼児の年齢別グループ活動の交流 行事を行う（祭り自体が開催中止）	新型コロナ拡大 防止のため中止
10		あきる野市里山体験 （あきる野市行きは 【中止】）		あきる野市の自然に触れ環境学習を 行う行事 ※新型コロナ感染拡大防止のため、外出行 事を自粛しており、1月に、当館にてあき る野里山塾の方による体験講座を開催。	18人

	【中止】 乳幼児 バス ハイク			乳幼児とその保護者を対象に、バスを使用して外出を楽しむ行事	新型コロナ感染 拡大防止のため 中止
		【中止】 パパと 行こう ワンダ ーフォ ーゲル		林試の森へ遠足に出かけ、植物や昆虫観察や外遊びを行う。	新型コロナ感染 拡大防止のため 中止
		【中止】 ドッジ ボール 大会		港区の児童館が集まって、ドッジボール大会を行う行事	新型コロナ感染 拡大防止のため 中止
	【中止】 みなと区民まつり			芝公園において、工作ブースへの出店協力、及び当館での児童の活動発表を行う行事（まつり自体が開催中止）	新型コロナ感染 拡大防止のため 中止
11	文化祭典			文化・芸術活動の展示と発表を楽しむ行事 ※新型コロナ感染拡大防止のため、文化祭週間として5日間に分けて開催した。	540人
	共育フェスティバル (オンライン開催)			赤坂・青山地区協働行事に参加し、工作ブースの出店、当館活動の発表を行う	新型コロナ感染 拡大防止のため オンラインにて 「共育オンライ ンフェスティバ ル」の名称にて 実施。実施内容 は動画の提供と して実施。
12	【中止】 たんぼぼ クラブ クリスマス 会			民生・児童委員「たんぼぼクラブ」との共催で乳幼児対象のクリスマス会を楽しむ行事（主催団体の意向で中止）	新型コロナ感染 拡大防止のため 中止
		【中止】 児童館交流会		港区の児童館が集まって、活動の成果を発表する行事（開催中止）	新型コロナ感染 拡大防止のため 中止
1			中高生音楽 表現発表会	中高生による音楽表現活動（バンド・ダンス）の発表を行う行事	4人
	キッズ ランド			乳幼児の年齢別グループ活動の交流行事（お店屋さんごっこ）を行う	73人
2	【中止】 節分・もちつき大会 (高齢者施設と共催)			高齢者施設と共催で、季節の伝統行事及びもちつきを楽しむ行事（開催中止）	新型コロナ感染 拡大防止のため 中止
			中高生交流行事	文化やスポーツに親しみ、中高生の交流を深める行事	12人
3	新	リアル脱出ゲーム		アリーナにおいて『脱出ゲーム』、『謎解き』などを楽しむ行事	102人

	クラブカーニバル&PlaZania ㊦ (クラブカーニバルは中止)	仮想通貨のお給料を稼ぐために、子ども自身で商品作りを行い、模擬店を開いて、稼いだ仮想通貨で買い物を楽しむことや、児童同士の交流を深める行事。 ※新型コロナ感染拡大防止のため高齢者施設との交流・クラブカーニバルは中止。	178人
--	--------------------------------------	---	------

(2) 連携行事 ※ 交流事業等は、新型コロナ感染拡大防止のため、中止。

月	乳幼児	小学生	中学生	高校生	保護者	連携機関	参加人数
5月	【中止】交通安全教室					赤坂警察署 (スクールサポーター)	新型コロナ感染 拡大防止のため 中止
6月			【中止】プラ ザカップ (フットサル)			赤坂、港南、高輪、神明、麻 布、芝浦の6プラザ	新型コロナ感染 拡大防止のため 中止
8月			【中止】 港区5館 合同LIVE Minato Music Mates			赤坂、港南、高輪、神明、麻 布、の5プラザ	新型コロナ感染 拡大防止のため 中止
9月	【中止】赤坂秋祭り2020					赤坂通り商店会等	新型コロナ感染 拡大防止のため 中止
10月		【中止】港 区児童館 ドッジボ ール選手 権大会					新型コロナ感染 拡大防止のため 中止
		交通安全 講話				赤坂警察署	41人
11月	火災予防講話					赤坂消防署新町出張所	29人
11月	赤坂・青山共育フェスティバル(檜町公園) (オンライン開催)					赤坂・青山共育情報局 赤坂地区総合支所協働推進 課	新型コロナ感染 拡大防止のため オンラインで「共 育オンラインフ ェスティバル」の 名称にて実施。実 施内容は動画の 提供。
		【中止】 プラザカップ (フットサル)				赤坂、港南、高輪、神明、麻 布、芝浦の6プラザ	新型コロナ感染 拡大防止のため 中止
12月	【中止】港区児童館 交流会					港区内の12児童館、プラザ	新型コロナ感染 拡大防止のため 中止
			【中止】 中高生バスケ 交流大会			赤坂、港南、高輪、神明、 麻布、芝浦の6プラザ	新型コロナ感染 拡大防止のため 中止

1月	【中止】 プラザ交流 大会（バスケ ットボール）		赤坂、港南、高輪、神明、 麻布、芝浦の6プラザ	新型コロナ感染 拡大防止のため 中止
2月	【中止】 プラザ交流大会 （卓球）		赤坂、麻布2プラザ	新型コロナ感染 拡大防止のため 中止

※ 乳幼児の連携事業については、子育て広場事業内に記載。

5 クラブ・サークル活動

<クラブ> ※ 10月から、一部のクラブ活動を再開。

実施回数	活動	内容	参加人数	対象
21回	レッツ！バトン	バトントワリング・ チアダンス（講師指導）	496人	小学生～中高生
【中止】	クッキング・ プチクッキング	料理活動・お菓子作り ※新型コロナの流行を 受け中止	実施せず	小学生～中高生
【中止】	ムジカ・ディ・ バンビーン	合唱・合奏 ※新型コロナの流行を 受け中止	実施せず	小学生～中高生
22回	DANCE	ダンス（講師指導）	410人	小学生～中高生
【中止】	NDM5	フットサル（講師指導）	実施せず	小学生
【中止】	バスケットボールクラブ	バスケットボール （講師指導）新型コロナ 感染拡大防止のため中止	実施せず	小学生

※レッツ！バトンクラブは「赤坂秋まつり（旧、SWING赤坂）」、「区民まつり」、「なんで～も文化祭」「クラブカーニバル」に出演予定だったが、新型コロナ感染拡大防止のため、出演中止。

※ムジカ・ディ・バンビーンクラブは、「地域懇談会」、「赤坂秋まつり（旧、SWING赤坂）」、「共育フェスティバル」「なんで～も文化祭」に出演予定だったが、新型コロナ感染拡大防止のため、出演中止。

※DANCEクラブは、「納涼祭」（中止）、「赤坂秋まつり」（中止）、「共育フェスティバル」、（リモート開催）「なんで～も文化祭」（出演中止）、「地域懇談会」（書面開催）に出演予定だったが、新型コロナ感染拡大防止のため、出演中止。

※バスケットボールクラブは「港区プラザ児童館交流会」に参加予定だったが、新型コロナ感染拡大防止のため、出場中止。

※NDM5は、親子交流会を年2回開催予定だったが、新型コロナ感染拡大防止のため、開催中止。

<保護者自主サークル>

実施回数	活動	内容	参加人数	対象
通年 (13回)	美容体操サークル	講師を招いての 「ピラバレッチ体操」	138人	なんで～もを利用している児童の保護者
通年 (2回)	Kinana (フラダンスサークル)	講師を招いての フラダンス練習	19人	なんで～もを利用している児童の保護者
通年 (16回)	新 ピリー部	健康の向上を目的としたダンス・運動	145人	なんで～もを利用している児童の保護者

※10月から、順次再開。

6 相談活動

主にキッズや学童クラブの保護者、クラブに所属している児童の保護者などから相談を多く受けた。また、中高生は信頼関係を築いた職員に相談するため、出勤日を確認して来館する児童も見られた。

相談活動の一環として、職員による保護者相談会「ここスキ!!」を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。

種別	主な相談内容	対象
電話・来館	小学生 ・友人関係について 中高生 ・進路について 保護者 ・離乳食について ・歩き始めの時期について ・イヤイヤ期について など	小学生・中高生 ・保護者

7 子ども・保護者委員会

毎年好評な「小学生なんで～も委員会」を、今年度は2回行った。小学生が意見を言いやすいように、アリーナ、クラフト、メディア、ラウンジでの活動等と、各回テーマを絞り、企画についての意見や、日頃思っている要望などを会議形式で話し合い、児童の気持ちを汲み取り、企画やルールに反映させた。

【アリーナ】をテーマとする会議では、「気配斬り」や「テニス大会」を行いたいという意見が挙がったので12月・3月に実施した。また、【クラフトルーム】をテーマとする会議では、「アルミ玉づくり」や「メダル作り」を行いたいとの意見が挙がり、今までに開催したことのない企画だったため、人気の企画となっていた。そして、【ラウンジ】をテーマとする会議では「新しい本を増やしてほしい」という意見が挙がったので、新しい種類の本を何種類か増やした。

「乳幼児の保護者」に焦点を絞って行う会は、年齢別グループ活動内で行う予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い館内での飲食（離乳食を除く）を禁止したこと、グループ活動の時間を短縮したことにより、中止とした。

実施月	活動	内容	参加人数	対象
【中止】	本音で語ろう会 「ママのティーパーティー」	楽しかったことや、やってほしいこと、館への要望などを自由に話し合う。	開催中止 (新型コロナウイルス感染拡大防止のため)	乳幼児保護者

10月 1月	小学生 なんで～も委員会 (再掲)	やってみたい企画、 遊びや館内ルールな どについて意見を話 し合い、自分たちで 館の企画や遊びを主 導する。	17人	小学生
-----------	-------------------------	---	-----	-----

8 国際交流活動

今年度は「チェコ」について学んだ。

特別活動

実施月	活動	内容	参加人数	対象
【中止】	ゲーム店出店	納涼祭に出店。	新型コロナ感 染拡大防止の ため中止	全児童・保護者・ 地域住民・関係者など
11月	ゲーム店出店	文化祭に出店。チェコ の郷土料理をテーマに したゲーム店。	101人	全児童・保護者・ 地域住民・関係者など

9 高齢者施設（サン・サン赤坂）との交流活動

特別活動

※高齢者と直接対面する交流活動は、新型コロナ感染予防のため、中止となった。

月	活動	内容	参加人数	対象
5月	【中止】サン・サ ン赤坂 ツアー	「サン・サン赤坂」利用者との 交流及び高齢施設での活動につい ての紹介	新型コロナ感 染拡大防止の ため中止	乳幼児～保護者 高齢者
6月	【中止】しゃぼん 玉 あそび	ふれあい広場において「シャボ ン玉遊び」で交流	新型コロナ感 染拡大防止の ため中止	乳幼児～保護者 高齢者
7月	【中止】七夕会	・デイサービスを訪問し、高齢者 と一緒に七夕飾り作りを行う。 ・竹笹への飾り付けを高齢者と一 緒に行う	新型コロナ感 染拡大防止の ため中止	乳幼児～保護者 高齢者
	【中止】 七夕飾りつけ	七夕飾り付けを高齢者と一緒に行 う。	新型コロナ感 染拡大防止の ため中止	乳幼児～保護者 高齢者
8月	【中止】 スイカわり	アリーナにてスイカ割りイベ ントを高齢者と一緒に楽しむ	新型コロナ感 染拡大防止の ため中止	乳幼児～保護者 高齢者
	盆踊り交流	デイサービス行事への参加 ※新型コロナ感染拡大防止の ため、高齢者施設への行き来を 自粛したことから、暑中見舞い を送り合う形で交流を実施。	15人	乳幼児～小学生

	【中止】プラネタリウム交流	アリーナにおいて行うプラネタリウムを一緒に楽しむ	新型コロナ感染拡大防止のため中止	乳幼児～保護者 高齢者・地域住民
	【中止】打ち水交流	毎週月曜日の午後、乳幼児用プールで使用した水を再利用して打ち水を行う。	新型コロナ感染拡大防止のため中止	乳幼児～保護者 高齢者
9月	敬老会	サン・サン赤坂の各フロアを訪問 ※新型コロナ感染拡大防止のため高齢者施設への行き来を自粛していたことから、メッセージカードを作成、館内にて飾る内容で実施。	8人	小学生
10月	ハロウィン交流	ハロウィンの仮装をして、サン・サン赤坂各フロアを訪問 ※新型コロナ感染拡大防止のため高齢者施設への行き来を自粛していたことから、ハロウィン企画の様子を動画で撮影し高齢者施設にて上映。	約60人	小学生
11月	【中止】文化祭交流	・乳幼児グループ、小学生音楽クラブでサン・サン赤坂の各フロアを訪問 ・「赤坂いきいきプラザ」利用者の作品を展示	新型コロナ感染拡大防止のため中止	乳幼児～保護者 高齢者・地域住民
	【中止】おやつ作り交流	サン・サン赤坂のデイルームにおいて、おやつを食べたりゲームをしたりして楽しむ	新型コロナ感染拡大防止のため中止	乳幼児～保護者 高齢者
12月	クリスマスツアー	サン・サン赤坂の各フロアを訪問し、児童の音楽活動の発表を行う ※新型コロナ感染拡大防止のため高齢者施設への行き来を自粛していたことから、高齢者施設に作成していただいた飾りをクリスマスツリーに装飾を行い、その様子を撮影し、動画を高齢者施設にて上映。	8人	小学生
1月	新年ごあいさつツアー	サン・サン赤坂の各フロアを訪問し、新年のあいさつ交流を行う ※新型コロナ感染拡大防止のため高齢者施設への行き来を自粛していたことから、年賀状のやりとりにて交流を実施。	10人	小学生
2月	【中止】もちつき	アリーナにて、もちつき行事を高齢者と一緒に行う。	新型コロナ感染拡大防止のため中止	乳幼児～保護者 高齢者・地域住民
3月	【中止】春の交流会	アリーナにて、児童の活動の発表及びデイサービス利用者による合唱の発表	新型コロナ感染拡大防止のため中止	乳幼児～保護者 高齢者

10 地域交流活動、歴史・文化にふれる活動

【日常活動】

児童の健全な育成を図るため、小学校、中学校、保育園、幼稚園、民生児童委員、青少年委員、その他福祉施設などの地域施設や関係者との連携を図ることを予定していた。また、これらの活動を通して地域に開かれた施設運営を行うとともに、地域との協力、交流が進むよう、日常的に地域との連携を深める活動を行う予定にしていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、殆どの活動が中止となった。

具体的には地域懇談会での相互協力を通してプラザの専門性の地域への還元、児童の状況などの情報交換を予定していたが、書面開催となった。

定期活動

実施予定回数	活動	内容	参加人数	対象
【中止】 (6月)	威臨丸(かんりんまる)探検隊	児童館の一般利用中止中のため、開催中止。		小学生
9月		【赤坂地域巡り】として、神社や地域のお店をまわり、地域について学ぶ。	8人	小学生
12月		東京スター銀行さんに訪問し、お金について学ぶ	11人	小学生
3月		乃木神社までの道中でクイズを答えながら赤坂の街を知り、乃木神社についても学ぶ。	8人	小学生
3月		近隣の公園へおでかけ。	22人	乳幼児とその保護者 (祖父母も含む)

特別活動

実施月	活動	内容	参加人数	対象
6月	【中止】赤坂小学校PTA主催遠足	小学校が新型コロナウイルスによる休校中のため、実施せず。赤坂小学校PTA主催による遠足への引率の協力	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	赤坂小学校児童 保護者
9月	【中止】赤坂秋まつり(旧SWING赤坂2019)	小学生によるバトン・ダンスの発表、中高生によるバンドの発表、保護者サークルによるフラダンスの発表	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	クラブ活動 参加児童
10月	【中止】みなと区民まつり	小学生によるバトンの発表	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	クラブ活動 参加児童と その保護者
	【中止】地域合同防災訓練	赤坂消防署新町出張所の協力のもと、サン・サン赤坂、地域住民との合同による利用者参加型訓練	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	全児童・保護者・地域

	【中止】 いきいきプラザ 展覧会	赤坂いきいきプラザ 主催利用者展覧会へ の出品	新型コロナ感 染拡大防止の ため(いきいき プラザ側から) 中止	乳幼児～保護者 地域住民
6月・11月	地域懇談会 ※新型コロナ対応 のため、 書面開催	地域の町会等代表 者、施設、児童福祉 関係者との情報交換	約100人	学校等、町会・商店会 及び児童健全育成関 係団体の役員等者

11 ボランティア活動

ボランティアの受入れについては、以下のような事業を実施することを計画していた。

＜受入れ事業＞：地域から自発的な申し出があった場合、内容、希望等を確認し、港区児童館等運営マニュアルに沿って、よく検討した上で企画、実施。

＜自主企画事業＞：当館の企画実施上、必要となる講師またはアシスタントに関して、本人の承諾を得た上でボランティアとして協力していただく。

＜子どもによる自主的な活動＞：当館の子どもたちによる地域貢献ボランティア活動を実施した。

しかしながら、新型コロナ感染拡大防止のため、殆どの企画・事業を中止せざるを得なかった。

【企画活動】

＜受け入れ事業＞

実施月	活動	内容	受入人数
通年(4回)	【中止】 講師による 企画	新型コロナ流行を受け中止	0人
12月	講師による企画	夢対話	6人
1月	講師による企画	あきる野環境学習	3人

＜自主企画事業＞

実施月	活動	内容	受入数
通年(5回)	講師による企画	子育て講話、琴・三味線等。 新型コロナの流行を受け、「な～んでもお聞きします、インターネット講習、フリスビーづくり」を 中止	79人
11月・3月 (2回)	行事や企画の手伝い	文化祭、プラザニア 新型コロナの流行を受け、納涼祭を 中止	11人
通年(5回)	日常活動の手伝い	見守り、工作準備、企画・行事の手伝い	5人

【中止】 8月（1回）	中高生居場所事業等	新型コロナの流行を受け、館内宿泊行事「よるで〜も」を中止	開催中止
----------------	-----------	------------------------------	------

<子どもによる自主的な活動>

実施月	活動	内容	参加人数
7月・12月・3月 (計3回)	子どもによるボランティア活動	年賀状づくり（みなとボランティアセンター「かんがり」への協力）、地域の独居高齢者へ送る寒中見舞（港区立赤坂いきいきプラザへ提供）・地域清掃	37人

12 食育活動

※ 新型コロナ感染拡大防止のため中止

【企画活動】

実施月	活動	内容	参加人数	対象
5月	自由調理	-	全面的に 開催中止	小学生
9月	自由調理	-		乳幼児
	自由調理（陶芸）	-		小学生
10月	講師企画	-		小学生
11月	世界の料理	-		全年齢
	講師企画	-		保護者
2月	自由調理	-		小学生
3月	自由調理	-		乳幼児

13 青山館との連携

利用者を対象とした行事等での連携・交流については、殆どの行事が新型コロナの影響により、中止を余儀なくされたため、実施できなかった。

- ① 具体的には、「eスポーツ大会」は実施できたが、これを除き、「年間行事」の各年齢層別バスハイクや中高生音楽表現発表会、「日常活動」では、卓球、ドッジボール、館内宿泊、講師企画である音楽・ダンスのレッスン、たんぼぼクリスマス会を中止としたり、講師等の意向で中止となった。
- ② 職員同士の連携・交流では、プラザ・青山館連絡会は、隔月で場所を交互に変えながら、指導職会レベルで毎月実施した。陶芸作品の赤坂の窯を利用した窯入れは、実施できた。ムジカ・ディ・

バンピーノに代わる「アニマート」には、ほぼ毎回、青山館から定期的に音大出身の職員が応援に来てくれた。

③ そのほか、ア 青山館で数回実施した館内研修に、赤坂から参加したり、赤坂の文化祭、プラザニアに青山館職員が実習を兼ねて応援に来てくれた。また、青山館のカリッパまつりやキッズ・クリスマス会に赤坂の職員を派遣した。イ 業務上の協力については、急に病欠者が生じた等により一時的に出勤職員が不足したときには、相互に職員を派遣し合い、お互いに実地研修を兼ね助け合った。

14. その他の活動

(1) 第三者評価

第三者評価については、平成28年度以降、指定管理期間のうち、中間年（3年度目）に1回受審することとなったことから、3年度目となった平成30年度に受審した。

評価機関による評価内容は、概ね高評価で、特段の指摘事項はなかった。

利用者やその保護者からのご意見の中には、思い当たる、もっともなご指摘もあり、これらに対しては謙虚に受け止め、順次改善を図ってきている。

(2) 意見箱

プラザではキッズルーム、ラウンジに意見箱を設置し、広く利用者からの自由な意見を募っている。

児童からは、マンガの購入の要望や、企画の際にアリーナなどの部屋が締切り（閉室）になっていることに対する不満などが寄せられた。

保護者からの意見には、「アトリエなどで～もの定員を増やしてほしい」「0歳児向けのおもちゃ・イベントを増やしてほしい」「グループ活動の曜日を月ごとに変えてほしい」「グループ活動参加者制限（子一人に対し保護者一人）をなくしてほしい」などのご意見があった。

アトリエなどで～ものについては、例年は月1回開催のところ、1月から3月まで、月2回の開催とした。0歳児向けのイベントについては、新型コロナ感染拡大の影響もあり、例年よりも少ない開催となってしまった。

(3) 苦情対応

利用者からの苦情の申し出については、令和2年度は以下の2件があった。

No	苦情 申出者	申し出の要旨	対応策	摘要
1	学童クラブの保護者 (R2.9.30)	学童クラブの保護者が、学童クラブへの提出文書に「近々引越するが、児童本人には内緒にしておいて欲しい。」と記載されていたにも関わらず、文書を途中まで読んだ担当職員が、本人に対し「引越するんだってね。」と話しかけてしまい、帰宅した児童が保護者に確かめたことから、保護者を怒らせた。保護者からは、「内緒に、と書いたのに」と抗議のメールが届いた。	事実関係を確認した学童担当係長が、ことの顛末と謝罪をメールで返信した。 その直後、保護者と会った際、改めて係長と当該担当者が直接謝罪したところ、「大丈夫。児童には、言いくるめたから。」とのことで、お許しいただいた。 事後のチーム打ち合わせで、「受けた文書等は、最後まで読んで対応するように」と申し合わせた。	

2	キッズルーム利用者 (R3.1.8頃)	初めて当館キッズルームを訪れた保護者が、区にメールで苦情を申し立てた。①コロナ禍での利用ルールについて職員に質問したところ、明確な回答がなかった。②離乳食を与える場所が示されていない。③会員カードは、その日に受け取れず、後日、取りに行かねばならないのか。④ラウンジのキッズスペースに区分けがなく、導線も示されていない。⑤フロントで、入館票を記入する際、職員があやしてもくれない。⑥おもちゃが古く、電池も入っていない等、多岐にわたる苦情であった。	区から連絡を受け、対応策を回答すると共に、改善できるものは、次のとおり、順次改善を図った。 ① 平日毎日の昼ミーティングの中で、コロナ禍での館内の利用ルールについて、「お便り」を熟読し理解しておくよう指示。②ラウンジに離乳食コーナーを設置し表示。③フロント担当に、極力、会員カードを即日作成・交付するよう指導。④キッズスペースに仕切り柵を設置し、床面に導線も表示。⑤コロナ禍の中、保護者に配慮して幼児を抱くことをためらっていたが、保護者の要望を確認し、注意しながら対応するよう申し合わせ。⑥利用を躊躇うほどの古い玩具は出していないが、電池は、消耗が激しいことから、入っていないものが多い。今後は、可能なものには入れるように努める。	
---	------------------------	--	--	--

なお、苦情があった場合は、真摯に受け止め、改善すべきは、改善策を講じていく。

(4) 広報活動

①「なんで～もステーション」

毎月発行しているプラザの情報誌で、その月の行事や企画を掲載している。プラザのフロントで配布したほか、学校、保育園、幼稚園、地域の町会長・自治会長や民生・児童委員の方等への配布も行った。(2700部、館内配布は約200部)

英語版(表紙、乳幼児、保護者版)も毎月作成し、フロントで配布した。

②ホームページ

独自のホームページにより、随時、広報活動を行った。ホームページには、施設の概要や「なんで～もステーション」、台風時の対応等の最新情報・緊急連絡事項、サークルや「なんで～も委員会」の活動報告などを載せており、幅広い対象にプラザを紹介し、PRした。

また、利用者の要望により「Face book」のページを開設しており、当館のステーション等の広報や年間行事の案内広報も継続した。

新型コロナ関連では、第二次緊急事態宣言発出時(令和3年1月8日～2月7日。延長:3月21日まで)における球技等での利用に関して、条件付きで可能とする旨の告知をした。

③『元気です』

社会福祉法人東京聖労院の広報誌。年3回の発行で、赤坂子ども中高生プラザ等で行われた行事の報告、行事の予定を掲載した。

(5) おもちゃの病院

毎月1回、専門のドクター(おもちゃ修理の先生)が港区内を巡回して来館し、壊れたり、動かなくなったりした利用者のおもちゃを修理し、再利用を図ることを予定していたが、新型コロナの影響により、実施できたのは、11月のみだった。(ドクターに高齢者が多く、実施を見合わせたいとの要望に基づくと聞いている。)

実施月	活動	内容	利用人数
11月 (毎月)	おもちゃの 修理、再生	修理の技術を持った先生たちが、破損したり、動かなくなったおもちゃを診断し、治療し、機能を再生する。	新型コロナ感染 拡大防止のため、 11月を除き、 中止 7人(12件)

(6) アンケート

企画によっては、利用者にアンケートを取り、事業に取り入れるようにした。

企画名	アンケート内容	要望の例
乳幼児 グループ 活動	活動でやりたい内容	外遊び、バスハイク、ベビーマッサージ、運動遊び ほか
アリーナ シアター	上映してほしい映画	ルパン三世 VS 名探偵コナン、となりのトトロ、あらしのよるに、SING ほか
中高生	新規購入本・マンガ おもちゃ	大学受験案内、進撃の巨人、ワンパンマン、ボードゲーム「カタン」、「ドミニオン」 ほか

(7) 学校等との連携

- ① 地域の公立小中学校、保育園とは、学童クラブ入会児童に関して、あるいは必要に応じて、先生方と日常的に情報交換を行い、連携を図った。
- ① 赤坂小学校との連携
 - ア 赤小 PTA 自然体験部が実施する野外活動の支援要員として、職員 2 名を派遣予定だったが新型コロナの影響により開催されなかった。
 - イ 新入生オリエンテーションに、「なんで〜も」を紹介するため職員の派遣をしているが、新型コロナ感染拡大防止のため、出席を見送った。
- ② 例年は、館長や職員が、学校の体育祭、文化祭等の行事や公開授業等に訪問し、学校での子どもの様子を参観し、日頃のコミュニケーションや児童の理解に役立てていたが、新型コロナ感染拡大防止のため、学校行事の殆どが開催されなかった。
- ④ 「サン・サンなんで〜も地域懇談会」に、地域の町会・自治会長、行政機関、青少年健全育成団体の関係者のほか、幼稚園、小・中学校、保育園等の教育機関等の長を招き、ご意見を聴取し、児童館での活動(クラブ演技披露を含む)も紹介していたが、感染防止のため書面開催とした。
- ⑤ 「放課 GO→クラブあかさか」とは、学童クラブ児童との合同行事を行い、児童同士の交流を行う予定だったが、感染防止のため見送った。
- ⑥ 「あかさかいきいきプラザ」とは、いきいきプラザ「ほのぼの作品展」に、当館利用児童および保護者の作品を展示予定だったが、開催されなかった。
- ⑦ 地域の公立保育園、私立保育園等から園児等を当館の乳幼児行事(キッズシアター、キッズランド等)に招待し、当館利用乳幼児との交流を行う予定だったが、新型コロナ感染拡大の影響により、乳幼児行事自体が実施できなかったため、交流が行えなかった。

Ⅲ 赤坂子ども中高生プラザ学童クラブ（放課後児童健全育成事業）

1. 学童クラブ事業

(1) 運営方針

赤坂子ども中高生プラザの事業の一つとして、学童クラブ事業（放課後児童健全育成事業）を行っている。安全・安心な生活の場であるとともに、健全育成の場として、プラザ内に専用の部屋と担当の職員を配置し、運営を行った。

(2) 子どもとの関わり

子どもたちが、新型コロナ感染拡大防止対策を取りながら、アクリル板を設置し消毒タイムを設ける等安心してのびのびと生活し、活動ができるように配慮した。健やかに育つ環境をつくるため、くつろげるスペースを設置したりし、宿題など学習への声かけをするなど、子どもたちが生活のリズムを作り、自立心が育つよう、支援に努めた。学童担当職員が児童との結びつきや信頼関係を深めるように交流を図った。

子ども同士の関係についても、お互いが楽しく、気持ちよく過ごせるよう、児童同士のトラブルについても細かく対応するよう努めた。

特別な支援が必要な子ども（被虐待児童を含む。）についても、集団の中で安心して過ごせるよう、必要に応じて（マン・ツー・マンで）サポートするなど、配慮した。

(3) 家庭との連絡と相談活動

毎日の連絡帳でのやりとりや、年2回の保護者会、個人面談等を通して、日々の子どもの様子をご家庭に伝え、よりよい運営を行うために、保護者と情報交換した。その他、保護者からの相談に対して、真摯に問題解決に取り組み、配慮が必要な家庭についても、保護者と連携して柔軟かつ丁寧に対応した。

また、今年度の、秋の親子ふれあいイベントは、保護者アンケートを実施し開催を見送った。3月の親子ふれあいイベントは、保護者による実行委員が企画・実施する方式ではなく、職員主導で実施することとし、中庭を利用して、夏外出の代替えで行ったゲームで楽しい時間を過ごすことができた。

2. 日常活動の報告

概ね下記日課表に従った規則的正しい学童クラブ運営を行った。

(1) 日課表

【学校がある日の例】

13:30～	来室 勉強タイム あそび
15:00	おやつ開始
16:30	おやつ終了
17:00	帰宅開始 （「送り」2回）
19:00	退室

【学校休業日などの例】

8:00～	来室 勉強タイム あそび
12:00	昼食の準備、 お弁当 片付け・休憩
13:00	あそび
15:00	おやつ開始
16:30	おやつ終了
17:00	帰宅開始 （「送り」2回）
19:00	退室

(2) おやつを提供

保護者から毎月預かるおやつ代を使用し、毎日午後3時から4時30分の間におやつを提供した。栄養面・安全面に配慮し、子どもたちが適切なエネルギー補給ができるよう工夫している。

前半は、新型コロナ感染拡大防止のため個包装のものを中心に提供した。11月以降はおやつの内容を見直し、提供方法に工夫をしながら個包装以外のもの（焼きおにぎりなど）を提供した。

アレルギーのある子どもに対しては、保護者に状況を確認した上で、別のメニューを用意するなど、個別の対応をとった。

また例年は、毎週水曜日に、プラザ併設の高齢者施設の厨房で、手作りのおやつ（おにぎり・からあげ・やきそばなど）を調理してもらい、子どもたちに提供していたが、新型コロナ感染拡大防止のため今年度は中止とした。

さらに、月1回のお誕生会の日には、個包装の洋菓子など子どもに喜ばれるよう工夫した。

(3) 安全の確保

保護者の協力を得ながら、出欠の把握を徹底するとともに、子どもたちに対しても安全確保の意識が高まるよう、日常的に指導をした。

休校明けの一カ月間（7月末）までは、学童クラブ担当職員が新一年生を対象に赤坂小学校への「迎え」を実施したほか、自宅付近まで（一ツ木公園方面・カンボジア大使館方面）延長して「送り」を実施し、これらを通じて、集団下校についての注意点等を指導した。

また、学童クラブに在籍する児童の居住地域が広範囲に及ぶため、児童の帰宅時の安全を図れるよう、年間を通じて、「5時帰り」、「5時45分帰り」の2つのグループに分け、職員が赤坂小学校まで、見守りながら送った。さらに、冬期（10月中旬～2月中旬）については、日暮れが早いことから、赤坂小学校の先（乃木坂駅付近・カンボジア大使館付近）まで、距離を延長して「送り」を行った。

(4) 家庭や学校等との連携

お便りの交換や、年度末に入会予定児童の情報共有を行い、様々な話し合いの場を通して学校や「放課GO→クラブあかさか」との協力関係を築いた。学童クラブの児童が個々に抱えている問題に関しては、お互いに情報交換し、多角的な視点で児童を捉えながら、速やかに解決を図っていけるように努めた。

また、災害や不審者との遭遇などの緊急事態が起きたときの下校時には、学校と密接に連携し、安全に対処できるよう臨機に体制を整えた。

(5) 子どもの様子

登録児童は令和2年度末時点で112名、日常的には平均48名前後の来室があった。学童クラブルームは、勉強をしたり、おやつを食べたりするほか、生活の拠点となる場所として、学年を超えた児童の集団で、多くの遊びを楽しんでいた。

今年度は、「三密回避」の観点から、プラザの一般利用中止期間中（4月～6月）はアリーナ全面に机と椅子を配置し、学童クラブの児童のみが昼食・おやつや自習のために使用した。7月以降もアリーナに学童コーナーを設置した。（8月は、半面。9月以降は1/4面。）

昨年度に引き続き、第1学童クラブルームを低学年、第2学童クラブルームを高学年が使用することとした。高学年の居場所づくりへの配慮から、第2学童クラブルームは低学年の入室は不可としたが、第1学童クラブルームやプラザ内では、今までどおり学年を超えて交流する姿がみられた。第2学童クラブルームでは、自分や友人の部屋のようにくつろぐ姿がみられた。第1学童・第2学童クラブルームとも、室内には畳スペースなどをつくり、ゆっくりとくつろげるように配慮した。

3. 学童クラブ年間行事・活動報告

月	行事	内容	人数
4	「なんで～もツアー」	新1年生が各部屋を回り、職員から使い方・ルールなどの説明を受けた。	26人(1年生)
	【中止】 「みんなであそぼう」	友だち作りのきっかけになる集団ゲームを行ったり、テーブルごとにおやつをシェアしながら食べる。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止
5	【中止】 誕生日会	お誕生日の特別なおやつを食べる。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止
6	第1回保護者会	会計監査委員の実行委員を選出した。子どもの様子を伝え、コロナ禍の過ごし方や、親子ふれあいイベントについて話し合った。	27人 (保護者)
	【中止】 誕生日会	お誕生日の特別なおやつを食べる。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止
7	誕生日会	お誕生日の特別なおやつを食べた。	68人
	【中止】 納涼祭出店	納涼祭に親子で飲食店を出店する。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止
8	誕生日会	お誕生日の特別なおやつを食べた。	65人
	【中止】 「手作りランチ」 パーティー	みんなで協力し、自分たちの昼食作りを行う。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止
	夏外出	新型コロナの影響により外出を自粛していたので、中庭を利用して代替企画として、水遊び・ゲーム大会を行った。(4回)	延べ 189人
	【中止】 交流ランチ	サン・サン赤坂の高齢者と昼食を食べ交流し、高齢者への敬意と親しみを感じるようにする。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止
9	誕生日会	4月～9月生まれの合同誕生日会を行った。	62人
	【中止】 秋の親子ふれあい イベント	保護者アンケートの結果、自粛した。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止
10	【中止】 第2回保護者会	学童クラブでの夏休みを含めた児童の様子を紹介し、育成料についての説明を行い、質問・要望について話し合う。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止
	誕生日会	「インタビュー」を行った。	63人
	個人面談(全学年)	保護者と、児童についての情報を共有した。(宿題の状況やお友達関係について話すことが多かった)	29人
11	誕生日会	「ジェスチャーゲーム」を行った。	57人
12	誕生日会	「ミラーゲーム」を行った。	52人
	クリーンプロジェクト& 年越しパーティー	お昼に仕出し弁当を食べた。おやつを探す謎解きゲームや年末宝くじ抽選会を行い、最後にクラブルームの大掃除を行った。	63人
	【中止】 冬外出	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止。	—人
1	誕生日会	「ビンゴ大会」を行った。	47人
2	誕生日会	「豆まき」を行った。	57人
3	誕生日会	「じゃんけん大会」を行う。	51人
	第3回保護者会&親子 ふれあいイベント	会計報告と1年間の子どもの様子を振り返る。また、親子でゲーム大会を行う。	延べ 95人
	【中止】 お別れ遠足	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止
	お祝いパーティー	昼食を食べ、3年生の低学年修了を祝い、第2学童へ送り出す。また、6年生の卒業を祝った。	66人

Ⅳ 令和2年度の事業を振り返って

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染を防止しながら事業を維持・再開することに腐心した1年となった。

前年度の3月2日以降、区立小中学校をはじめ、都立や私立学校・インターナショナルスクール等がほぼ一斉に臨時休業（休校）に入ったことから、4月1日以降も港区の方針にしたがい、プラザ（児童館部門）の一般利用が中止となり、この間は学童クラブのみの運営となった。

その後、学校再開（7月1日）までの3か月間、プラザ（児童館部門）の一般利用中止（事実上の臨時休館）が継続した。

7月以降、プラザ（児童館部門）の一般利用を再開したものの、新型コロナウイルス感染症対策を徹底する必要があることから、区の指示等のもと、次のような具体的対応を行った。

入館時には、利用者に ①マスク着用 ②アルコールによる手指消毒 ③（非接触式体温計による）検温 ④新型コロナウイルスのクラスター発生時に必要な「利用者追跡」を想定し、身元確認のため、メンバーズカード及び入館票への連絡先・電話番号の確実な記入 を求めた。また、感染予防のための「ソーシャルディスタンス」が求められることから、① 各室毎に面積により割り出した ① 「定員制」の設定 ② 事前「予約申込制」（区民優先） ③ 接触感染予防のための「消毒タイムの設定」、④ 館内での食事・間食の禁止 ⑤ 冷水器の使用中止 等を行った。また、飛沫感染防止のため、換気扇の終日稼働、開窓（ほぼ終日）による換気も徹底した。

このほか、感染防止対策として、①フロント入口を始め、各室入口に手指消毒用のポンプ式アルコール噴霧ボトルの設置、②アリーナに直径90センチの大型送風機2台の設置・稼働 ③冬季には、各室に加湿器及びサーキュレーターなどの機器・用具を設置し、飛沫の滞留防止対策に努めた。学童ルームやメディアルームには、対面・並列着席に伴う飛沫拡散回避のため、机上に「アクリル板」（隔壁）を立て、常設した。

アリーナでは、12月まで禁止としていた球技等三密（密閉、密集、密接）になる可能性が高い遊びを1月（第2次緊急事態宣言発出（1月7日））から再開するにあたり、①手指消毒の徹底 ②マスクの確実な着装 ③大声を出さない ④少人数（バスケットでは、最大6名、ドッジボールでは最大20名）の励行を前提に、遊べるとするルールを設け、利用者を実施を求めた。

こうした異例の事態に立ち至ったことから、利用者数は、大幅に減少した。その要因としては、① 3か月間、児童館部門の利用中止期間があったことに加え、② 予約制、定員制等の様々な制約を設けたことから、利用の自由度が大幅に減少し、使い勝手が悪くなったこと、③ 新型コロナウイルス感染防止のため、利用者が多数参加して密となる納涼祭等の大型の年間行事をはじめ、調理活動、集団となって楽しむバスケット等やクラブ活動等、様々な企画行事を中止せざるを得なかったこと。④ 地域居住者の意識として、新型コロナウイルスの感染リスクを低減させるため、プラザの利用自体を控える利用者が多いことも考えられる。

令和2年度通年の利用延人数の対前年度比内訳は、幼児（25.4%）、小学生（29.1%）、中学生（47.8%）、高校生（25.6%）保護者（27.9%）と、大幅減となった。

この要因としては、

- (1) 新型コロナウイルスの影響により、区の方針に従い、4月から6月までの3か月間、児童館部門の一般利用を中止（事実上の休館）した影響が大きい。
- (2) 一般利用を再開した後も、予約申込制、定員制、食事が出来ない、クッキングや密になる可能性が高い球技等ができないなどの利用上の制約を多く設けざるを得ず、多くの企画・行事を中止せざるを得なかったこと。
- (3) 新型コロナウイルスの影響により、クラブ活動についても、年度前半は実施を見合わせたり、納涼祭を始めとする大規模イベントや外出イベント、高齢者施設や他館等との交流事業等を軒並み中止せざるを得なかったこと。
- (4) 「コロナ禍」にあっては、児童館の利用を自粛している子ども・家庭が多く存在すると思われること。

などが考えられる。

令和2年度は、新型コロナ禍の中にあっても、感染の可能性が比較的少ない小規模な新規の企画行事を実施し、如何にすれば感染を防止しつつ事業を継続できるかという観点から、工夫しつつ事業を継続した。

新規企画としては、

- ① 年齢層横断層対象企画では、「リアル脱出ゲーム（謎を4つ解けば、アリーナから脱出できるゲーム）」、を実施した。
- ② 乳幼児対象企画では、「キッズ夏まつり（納涼祭の代替。青山館と共催）」、「水遊び（ビニールプールの代替）」、「ハロウィンフォト」「キッズ咸臨丸」ほかを実施した。
- ③ 小学生対象企画では、クラフト系の「絵画コンテスト」、「スタンドグラスづくり」、「浮き出すアート」「プロジェクション・クリスマスツリー」「起き上がり小法師」「缶バッチづくり」ほか。音楽系の（コーラスに代わる器楽演奏クラブ的な）「アニマート」、「（ドラムやギターなどの）楽器に触れてみよう」ほか。運動系の「ストラックアウトタイム」「（バスケ）フリースロー大会」「テニス大会」ほか。ダンス系の「歌舞伎体験（日本舞踊とお芝居）」、ゲーム系の「e-スポーツ大会（青山館と共催）」ほか。ゲーム系の「スマブラ（スマッシュブラザーズ）タイム」「クイズ大会」「（ボード）ゲーム大会」ほか。むかし遊び系の「じゃんけんタッチ」ほか。文化系の「夢対話」など多彩な企画を実施した。
- ④ 中高生対象企画では、「SWITCH王決定戦」、「ダーツ王」、「（ボード）ゲーム王」、「格付けチェック&ナーフ」ほかを実施した。

令和2年度は、種々の新型コロナ対策を施しながら事業を継続した結果、利用者、学童クラブの児童をはじめ、職員にも新型コロナの感染者を発生させることなく事業を運営できた。

令和2年度は、小学生を重点対象として、事業展開してきたが、令和3年度は、乳幼児をメインターゲットに据え、実施方法等を工夫してコロナ禍の中でもできる新たな企画・事業の展開を図っていくこととしている。

令和2年度も、児童・保護者との信頼関係を築き、安全・安心に過ごせる児童の居場所づくりという基本を重視し、円滑な運営を目標とした。

令和2年度は、前年度と同様、児童定員120人で運営した。これに対し、年度当初の入会者は、118名（1年生：32名、2年生：35名、3年生：19名、4年生：14名、5年生：12名、6年生：6名）、途中入会：8名、途中退会14名で、年度末在籍者112名（最大在籍児童数は123名）であった。近隣の赤坂小学校以外の学校（インターナショナル・スクールや国・都・私立小学校など）に通う児童が多く、あわせて31名の在籍があったが、これは、他のクラブと比較してもかなり多い人数・学校数と言える。

そのため各学校の休校日等の予定にあわせ、職員体制を細かく調整・配慮した。

例年、前年度の3月に実施していた「入会説明会」（令和2年度の入会児童の保護者対象）は、新型コロナの影響で開催できないまま新年度を迎えたが、緊急事態宣言（第一次：4/7～5/25）が解除された6月になって、改めて開催した。アリーナで、間隔を空けて椅子を配置し、時間も短縮して、必要最低限度の説明・質疑を行った。なお、同一日に保護者会も開催した。

学童の一大イベントといえる保護者主催の「親子ふれあいイベント」は、新型コロナの影響で例年9月頃と秋に開催していたものは、実施を見送った。3月に実施していたイベントは、実行委員を設けず、学童クラブ担当職員が企画立案し、中庭で職員主導での親子参加のゲームを実施した。

「親子ふれあいイベントを実施できてよかった」、「親子で参加したが、良い思い出ができた。」との声が多く聞かれた。

令和2度も、保護者との関係では概ね良好に運営できたと捉えている。

運営面では、児童の安全・安心な児童の居場所として、年間を通じて円滑・順調に運営するができた。

今後も保護者と連携しながら、児童にとって心地よく安心できる居場所であるよう努めていきたい。

学童クラブームにおける新型コロナ対策としては、館内で食事・間食が出来ない（区の方針）中であって、学童は、おやつや長期休業時の昼食を摂取しないわけにはいかないことから、例外的に摂食の時間を設定した。その際、新型コロナの具体的対策として、①換気の徹底（開窓、換気扇の常時作動）のほか、②アリーナに広い空間を用いた「学童専用スペース」（4月以降は全面。一般利用再開以降の8月からは半面、9月以降は1/4面）を設置し、机椅子を置いて、卓上にアクリル板を立て、アクリル板を隔てて斜め向かい、交互に向き合って座り食事を摂ることにした。（長机1卓2人掛け）③学童クラブームの机は、通常1卓6人掛けで使用していたが、1卓2人掛け、アクリル板を挟んで交互に向きあって座る方式で、密や飛沫回避のための対応をした。この着座方法は、食事時間以外も常時活用した。

令和2年度も、「対象児童の年齢層別」の職員グループ制（職員が、プラザの「キッズ（＝乳幼児）」、「小学生」、「中高生」担当、それに「学童クラブ」のいずれかのグループに属する）を維持した。また「学童クラブ」を除き、担当者が各グループの日常活動に参加する「相互乗り入れ」方式を維持し、定着している。その結果、殆どの職員が児童館業務のどの年齢層にも抵抗感や苦手意識を持たずに対応できるようになっている。

4 館内外で発生した事故

令和2年度の怪我に起因する事故は、「児童館内での身体的な事故」が1件発生した。

館外での同種事故は、学童クラブ児童が学校から当館へ通う途中転倒し、額部をコンクリート路面に打ち付けたことに因る怪我で、たまたま警察官が目撃し救急車を呼ぶことになったが、打撲と擦り傷程度であった。本件は、当館に来る途上（来館前）の事故で、当館管理下にはない時に発生したものである。

「身体的な事故」は、前年度（5件）より大幅な減となった。

館内発生事故は、学童クラブ室内で「帰りの会」の最中、着座していた児童が、着席姿勢が悪くなかったため椅子ごと横転し、床と椅子の背もたれ部分の鉄パイプの間に指を挟み、爪の周りから出血し爪が剥がれかけた怪我で、軽症で済んだ。吐嗟の出来事で、職員がその場に居ても防ぎきれなかった。

発生後は、職員がすぐ保護者に電話連絡して経緯説明と謝罪をし、迎えに来た保護者に引き渡した。保護者が医院に連れて行ったところ、傷口への塗り薬塗布と痛み止め薬の処方済んだ。

この事故については、保護者に対し事故当時の状況や館としての対応、保険等や区の見舞金制度について、丁寧に説明するなど適切に対応したことにより、苦情には至らなかった。

また、利用者と職員との日頃の良好な信頼関係がベースにあることも、苦情には至らなかった要因と考えられる。

今後は、引き続き児童に対する見守りを更に強化し、可能な限り事故防止に努めるとともに、事故の未然防止に向け必要な対策を講じるなど、より一層安全・安心に過ごせるプラザを目指していきたい。